

第2回公式Web説明会の開催中にいただきましたご質問/回答

Q.	リサイクル品も製品にする際にCO <sub>2</sub> 排出をしますが、リサイクル品の方が脱炭素になるエビデンスなどあるのでしょうか？
A.	製品CO <sub>2</sub> 排出量報告書を日栄新化(株)より無償でご提出しております。
Q.	循環ラベルのご紹介がありましたが、ラベルのどの部分を循環させているのでしょうか。
A.	ラベルの「台紙」部分となります。
Q.	リサイクル台紙を使用したとして、リサイクルするためには上流下流含めてリサイクルの輪に入る必要があると思いますが、その辺のサポートも対応していただけるのでしょうか。
A.	リサイクル専用台紙を使用したラベルのサンプル提供やご評価に加え、回収においても回収ガイドラインのご説明、有価売買契約書のご締結までサポートいたします。
Q.	台紙をリユースすることはできませんか？ 発表資料ではラベルは台紙のロールで供給され、使用後の台紙もロールで巻き取られるように理解しました。回収した台紙ロールに再びラベルを形成することはできないのでしょうか？
A.	異物や繋ぎテープの付着、その他、シワや傷により品質面を勘案し、台紙のリユースは通常行えないと認識しております。
Q.	台紙を紙からPETに変更することで、装置の変更など設備費用面でネックになったことはございますでしょうか。
A.	現時点では問題無く、ご使用いただいております。
Q.	両面テープの裏紙もラベル台紙でしょうか？
A.	セパレーターと呼ばれることが多いですが、ラベル台紙と同じ構成です。
Q.	LCAの計算について教えてください。SuMPOなどの保証は受けられるのでしょうか。
A.	お客様の構成に応じて、日栄新化(株)の自主基準値でエビデンスをご用意することは可能です。 「算出モデル」については、SuMPOと三井物産(株)が共同開発した、LCA+を使用し、三井物産グループが算出しております。